

学校法人 普連土学園中学校・高等学校 殿

所在地：〒108-0073 東京都港区三田4-14-16 tel. (03) 3451-4616

ホームページ：<http://www.friends.ac.jp/>



藤井様

庄司先生

東京都港区にある普連土学園は、1887年、キリスト教のフレンド派に属する海外婦人伝道会の人々によって、女子教育を目的として創立されました。個人にある内なる種—たまもの—を育てるという教育理念、教員と生徒が温かい信頼関係で結ばれている学風や、沈黙の礼拝に代表される静かに自分の心を見つめる日常的な習慣により、落ち着いた授業環境が支えられています。少人数習熟度別授業と補習、ユニークな語学教育、早くからの進路指導により、ハイレベルの進学校となっています。奉仕活動や国際交流にも力を入れ、「普（あまね）く世界に連なる」学園を目指されています。



学園の講堂で様々な活躍をする

「MT1075J」。



普連土学園事務室の藤井様と庄司先生をお訪ねし、学園の講堂でご利用されている天吊型の「MT1075J」の導入経緯や使い勝手、用途についてお伺いしました。これまでは、客席内に特殊な台を設置してプロジェクタを載せ、その場で操作しなければならない不自由さがありました。そこで、誰でも使える簡単な操作性・高い安全性・高輝度・小型軽量という点から、「MT1075J」を導入。学校説明会や朝の礼拝、留学体験の発表、学園祭など様々な用途でご利用になられています。

今まで講堂でプロジェクタをご使用になる時は、苦労されたそうですね？

庄司先生 客席はスロープ構造なので、客席内に特殊な台を設置し、その台の上にプロジェクタを置いていました。椅子より30cm程度高い位置にプロジェクタを設置して直接投写していましたが、学校説明会などではプロジェクタが客席を占有する上、その場所での操作が不便でした。天吊にしたくても、講堂の内部構造の古さから耐久性を危惧する声もありました。



他校の設備を参考にされたそうですが？

庄司先生 他校の設備を見学して、プロジェクタの大きさと設置環境に驚きました。三管式の天吊や、鏡を使った反射方式、プロジェクタが調整室に設置されていた学校もありました。本校の基本方針のひとつが、「講堂のデザインを変えない」ので、いずれも本校にはそぐわないと判断しました。それで、なるべく目立たずに小型軽量のプロジェクタを天井に取り付けることができないものか、とっていました。

「MT1075J」の選定理由をお聞かせください。



庄司先生 プロジェクタの操作に、専門の教員を付けるのは効率的ではありません。全ての教員が使えるように簡単に操作できるもの、とご提案を頂く前にお願いしました。もちろん、明るさも選定のポイントでした。

藤井様 NECが他メーカーとの提案で大きく違った点は、他メーカーはスイッチャー周りが特注品という考え方でした。しかも、機能的に低い提案内容だったのです。ところが、NECの提案には使い勝手の良さがありました。庄司先生 NECの提案は、こちらが何も言わなくてもシステムにいろいろな機能を付加して頂き、勉強になった点がたくさんありました。本校としては

ありがたかったです。

藤井様 NECの営業の方も親身になってくれました。安価で性能が良いものを提案して頂き、誠意を感じました。

天吊工事で、安全上の問題を気にされたそうですが？

庄司先生 プロジェクタが落下したら生徒がケガをします。天吊工事では、提案通りかなり頑丈に作って頂きました。価格や性能よりも、安全第一を考えました。

藤井様 でも、「MT1075J」の重量は信じられなかったほど軽かったですね。

「MT1075J」天吊システムを導入なされていかがですか？

藤井様 設置工事が終わり完成形を見たら、「MT1075J」にして改めて良かったと惚れ直しました。導入後のフォローも頂き、明るく映りもきれいで、使い勝手も良いのでとても満足しています。

庄司先生 前提条件は、「誰でも使える」です。実際の操作は、システムスイッチャーに接続しているリモコンで行います。講堂内の放送室と舞台袖で使えます。「MT1075J」の操作はただボタンを押すだけなので、いずれは生徒だけでも全部操作できるようにしたいと思っています。明るさについては、客席照明を点けたまま使用できるので、満足しています。今までのプロジェクタでは、講堂の中の客席照明を全部消さないと映像が見えず、肝心のポイントをメモしたくても手元が暗くて不自由していましたので。



具体的なご使用例をお聞かせください。

藤井様 留学から帰国した生徒が、自分で作った留学先の紹介ビデオを映しながら礼拝をしました。DVDの撮影や編集なども、全部生徒が行いました。

庄司先生 学園祭で成果発表を行った時に、普通のTV番組のようにプロジェクタで資料映像を映し、なかなか好評でした。全て生徒の手作りです。今まで不可能だったことが可能になったという印象でした。生徒は新しいことにどんどん挑戦しますね。

今後はどのようなご使用を考えていらっしゃいますか？

庄司先生 話だけで説明するより、映像を見せて説明するほうが当然解かり易いと思いますので、今後は対外的な学校説明会や受験説明会では、必ず使用する予定でいます。進路説明会や職業講演会、お客様がパソコンを持参した際も楽ですね。学校内行事でも、各学年やクラブで自由に使ってもらいたいです。ただ、プロジェクタを使うだけに留まらず、伝えたいものや自分を表現する一つの方法として、「道具として」誰もがプロジェクタを「補助的」に使えるようになれば、と思っています。

本日はありがとうございました。

システム構成図

▶▶ 拡大図はこちら

